

ハイパワーガード

塩害対策用として高い防錆力を誇るエポキシ変性アルキド樹脂系塗料

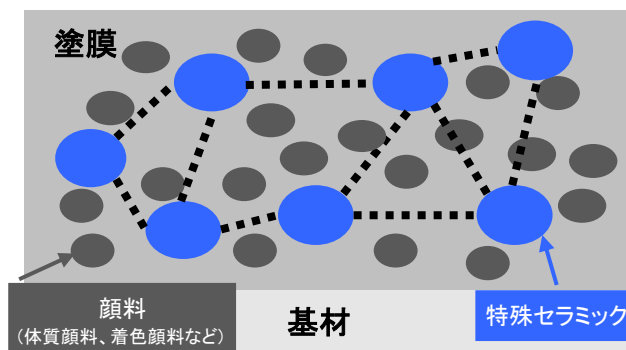
特殊セラミックの配合による高い防錆力と良好な浸透力によってサビ層内の水を無害化し、サビの抑制だけでなくサビの進行を遅らせ車両下回りや鋼構造物を腐食から守ります。

(注)素地調整の省略を推奨するものではありません。本塗料の性能を最大限に発揮するためには、できる限り最良の素地調整をしてください。

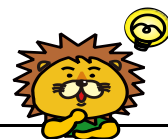


*当社試験結果(塩水噴霧試験 500時間)

ハイパワーガードの塗膜のイメージ図



- ① 特殊セラミックが塗膜に入ってきた水分によって繋がり、他の防錆塗料には無い強固な塗膜を形成
- ② セラミックに含有するアルカリ成分が鋼材表面を不動体化



標準塗装仕様

工程	使用塗料	標準使用量	標準膜厚	塗装間隔	希釈剤	希釈率 (%)	推奨塗装方法
		kg/m ²	dry	(23°C)			
気象条件	気温 5°C以上、湿度 80%以下						
素地調整	【理想】 Sa2以上：十分なブラスト 拡大鏡無しで、表面には目に見える油、グリース、泥土および弱く付着したミルスケール、さび、塗膜、異物が無く、残存した全ての汚れは固着したものである事						
	【必須】 St2(2~3種ケレン)以上：十分な手工具および動力工具仕上げ 拡大鏡無しで表面には目に見える油、グリース、泥土および弱く付着したミルスケール、さび、塗膜、異物が無い事						
下塗り ()内はサビ面に塗装する場合	ハイパワーガード	0.19 (0.30)	35 μm (60 μm)	3時間以上	リルカ#54 シンナー	10~20	エアスプレー
上塗り	リルカ#54	0.16	35 μm		リルカ#54 シンナー	30~50	エアスプレー

* 上記数値は全て標準の値です。塗装機や塗装方法、塗装条件、下地の状態などにより多少の幅を生じる事があります。

試験成績表 (社内試験による)

試験項目	試験内容	JIS規格番号	試験結果
光沢	60度鏡面光沢計	JIS K 5600-4-7	1.0以下
耐衝撃性	デュポン式、1/2インチ、500g	JIS K 5600-5-3	50cm合格
鉛筆引っかき値	三菱ユニー (破れ)	JIS K 5600-5-4	F
付着性	1mmコバン目 (残数/100)	JIS K 5600-5-6	100/100
耐温水性	40℃、イオン交換水没水	JIS K 5600-6-2	240時間
耐湿性	50℃、湿度95%以上	JIS K 5600-7-2	240時間
耐塩水噴霧性	5%塩水、35℃、相対湿度95~98%	JIS K 5600-7-1	480時間

概要

主用途	車両、建築機械、工作機械、農業機械、産業機械、金属一般の下塗り用、塩害対策用
樹脂系	エポキシ変性アルキド樹脂系
荷姿	16kg、4kg、220mLエアゾール (エアゾールはブラックのみ)
色	ホワイト、ブラック、ライトグレー
つや	つや消し (光沢値 1.0以下)
引火点 (°C)	25°C
希釈剤	リルカ#54シンナー、KRマリンシンナー カナエ塩ゴム・アクリルシンナー
劇物表示	非該当
消防法区分	第4類第2石油類
有機溶剤中毒予防規則	第2種有機溶剤
適合上塗り塗料	アルキド樹脂系、アクリル樹脂系、塩化ゴム樹脂系 (注)ウレタン系、ビニル系の塗装は避けて下さい。

注意事項

- ① 塗装時0°C以下、塗装後0°C以下の気温が連続することが予想される場合や、塗装時の湿度80%以上の場合は施工しないでください。
 - ② 顔料が沈降しやすいので、使用前に十分に攪拌してご使用ください。
 - ③ 必要な保護具(帽子、保護メガネ、マスク、手袋など)を着用し身体に付着しないようにしてください。
 - ④ 浮きサビやルーズな黒皮、旧塗膜面の発サビや塗膜の浮きなどは十分に除去してください。
 - ⑤ 過剰に希釈をすと薄膜となり、本来の塗膜性能が発現しない可能性がありますので、規定の希釈量を守ってください。
 - ⑥ 初期サビの原因となりますので、規定の膜厚を確保してください。
 - ⑦ 指定のシンナー以外を使用した場合、不具合を生じる場合があります。
 - ⑧ 塗装後は雨など水分のかからない場所で十分に乾燥させてください。
 - ⑨ 自然発火や引火の危険性がありますので、塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで必ず水に浸けるか、密栓のできる容器の中に保管してください。
 - ⑩ 常時浸水される部分への使用は避けてください。
 - ⑪ 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にてご使用ください。
 - ⑫ 防爆型の設備(換気装置、照明機器など)を使用してください。
 - ⑬ 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 - ⑭ 塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。
 - ⑮ 本来の目的以外には使用しないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。